

新設組合紹介

企業組合美郷ストロベリー



金子理事長

【組合の紹介・PR】 本県における「いちご」の作付面積は約65haで収穫量は約430tであり、これは国内の収穫量の約0.21%に留まっているのが現状です。

また、「いちご」は低温で花芽をつけることから、7月から10月が端境期となり、品薄になることから、夏期は米国等からの輸入品に依存している状況です。

このため、夏期に出荷できれば、高価格での取引が可能で経営の安定化とともに、通年出荷することによりお客様の多様な要望に応えることができ、生産地としての評価につながります。

そこで、通年出荷できる設備の増設や栽培体制の高度化を目的に、美郷町の農家5名で企業組合を設立しました。

今後は「いちごジャム」等の加工品の販売等も行おう予定としており、家内労働であった「いちご栽培」の企業化を図り、地域経済の活性化や雇用の確保に繋げていきたいと考えています。

【理事長から一言】

秋田県の主要産業である農業は高齢化や耕作放棄地など多くの問題を抱えています。農業は夏季的な産業との考えにより、冬期間の生産手段をもっている農家は極々少なく、企業の運営ができない状況です。

現在のいちご栽培(秋～春)に加えて、夏季栽培にも挑戦し通年営業ができるようにしたいとの思いから農業ではあるが企業として運営したいと考え、友人の協力を得て企業組合を設立しました。

企業として自立できるよう努力しますので、よろしくお願いします。

- 所在地 秋田県仙北郡美郷町金沢西根字東谷地中 45 番地 3
- 代表理事 金子 嘉伸
- 出資金 250,000 円
- 組合員数 5 名
- 主な事業 いちごの生産・販売、委託加工品の販売
- 成立年月日 平成 25 年 4 月 18 日



組合ティールーム

秋田市工業団地協同組合

理事長 伊藤 和宏 さん

○業界の現状について

当組合は施設の共同利用や集団化による生産性の向上等を目的に、昭和37年に設立されました。現在、組合員は30社となっており、金属工業を主とする企業が多く加入しています。当業界の現状は、単価・仕事量ともに下降している上、今後は資材価格や電気料金が上昇することが予想される等、先の見えない状況が続いています。円安でも、当組合のような中小下請企業では、その恩恵を受けられていないのが現状ですが、経済全般が活性化して、我々業界に及ぶことを期待しています。

○理事長としての抱負

前述のとおり、長い歴史がある組合ですが、今後組合としての「求心力」をどう維持していくかがキーポイントとなっています。そこで、相互理解を深めるためのコミュニケーション手段として今年4月から会報「団地だより」を発行していますが、個々の組合員の声を上げ、上部団体への要望に繋げていく取り組みにも活用していきたいと思っています。

○普段心がけていること

世の中の動きに遅れずについていくことを常に心がけています。人はだれでも現状維持の方が楽なので、明日の自分を变えようとする時は勇気がいるし、リスクを負う可能性もあります。これは、経営においても、現状のままだと、ジリ貧・マンネリ化につながります。時代について行くためには、リスクを負ってでも新たな手を打っていく必要があり、変化と維持のバランス感覚を大事にしていきたいと思っています。

○趣味

趣味は音楽鑑賞で、モダンジャズを聴いて、バンドを組んでいた青春時代を思い出しています。また、球技全般のスポーツ観戦が好きです。ゴルフだけは、自分でプレイヤーとしてほぼ毎週楽しんでます。

